

愛知県次世代自動車産業振興アクションプラン（仮称）の策定に向けて ～愛知県の自動車産業を取り巻くメガトレンド～

社会背景①:

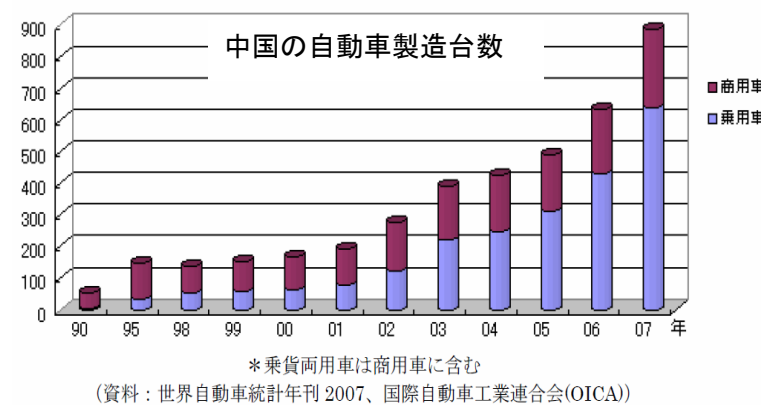
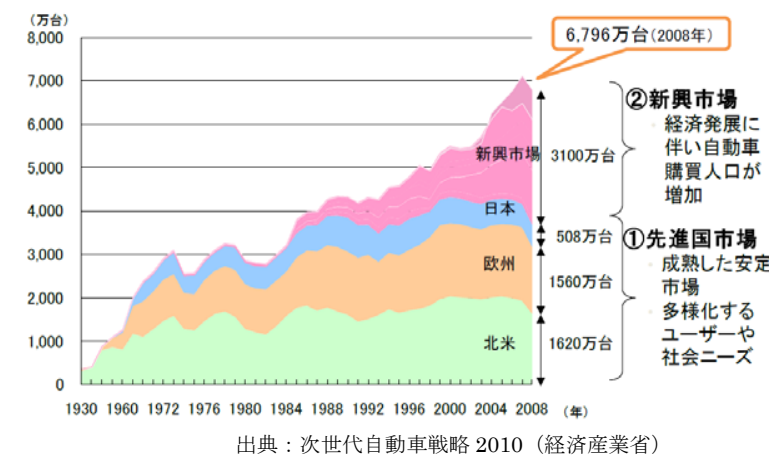
グローバル化と自動車産業

▶ 台頭する新興国市場
と縮小する国内市場

先進国の自動車市場は縮小傾向。今後は BRIC's をはじめとする成長国市場に移行。

▶ 新興国の自動車産業の急追

中国、韓国等新興国が世界の自動車市場を席卷。

▶ 世界的に次世代自動車の
開発競争が激化

社会背景②:

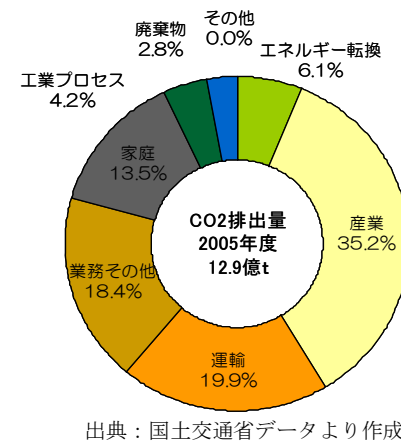
地球環境問題からの要請

▶ 地球環境負荷の高い自動車交通

わが国の自動車起因の CO2 排出量はが全部門の 10%を占める。（運輸部門の 1/2 が自動車起因）

▶ 成長国の CO2 排出量

新興国の自動車普及に伴い、地球温暖化問題が一層深刻化。



社会背景③:

東日本大震災の教訓

▶ 災害時の安定したモビリティ

東日本大震災の被災地では、ガソリン不足のなか、電気自動車も活躍。

▶ 分散型電源供給機能の必要性

ハイブリッド自動車や電気自動車のバッテリーの電源供給機能が注目。分散型自立エネルギーの拠点としても注目。スマートグリッドのコアテクノロジーとしても注目。

注目される次世代自動車市場

▶ 新興国自動車産業との差別化

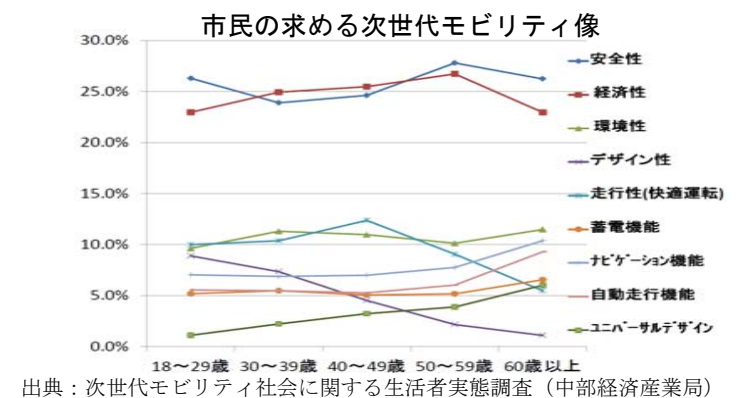
新興国の低価格車に対抗できる新しい自動車産業

▶ 先進国で旺盛な環境意識への対応

欧米で高い環境意識をキャッチした商品開発

▶ 市民レベルの新たなモビリティニーズの対応

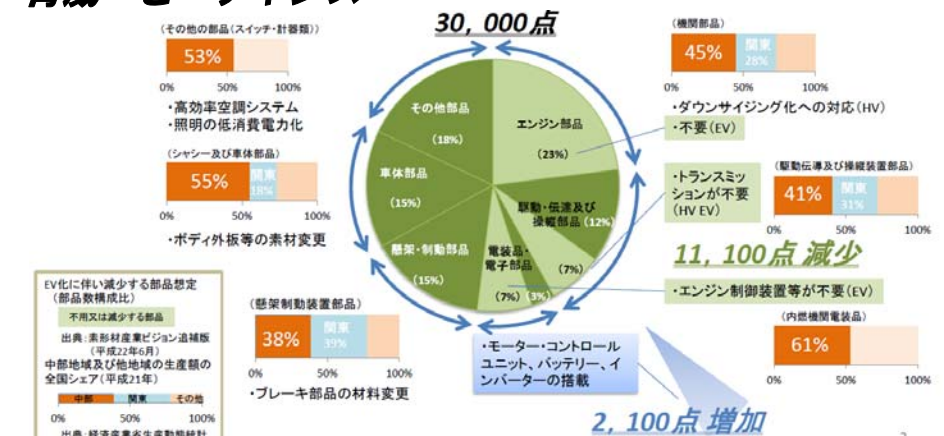
市民の中で台頭する新しいモビリティ像



次世代自動車産業がもたらす“脅威”と“チャンス”

▶ 部品数は内燃機関車の 1/3

部品点数を 30,000 点とした場合、エンジン、トランスミッション、エンジン制御装置等 11,100 点が不要又は減少、モーター、バッテリーなど約 2,100 点が増加。



▶ 「軽量化技術」「電動化・駆動系」「サービス」が有望技術分野

次世代自動車産業の育成に向けて

▶ 次世代自動車普及（政府公表）

2020 年、新車販売の 1/2 が次世代自動車。

▶ 次世代自動車関連産業クラスターを目指す“中部”

▶ 産官学連携の積極的取組み（県内動向）

